

活動方針

わが党は昨年10月の衆議院総選挙において大きな勝利を果たした。このことは、我が国に山積する課題を着実に解決できるのはわが党において他には存在しないということを物語っている証左であります。同時に国民の声に真摯に耳を傾け、信頼を得たうえで誠心誠意国民と向き合わなければ過去に経験したように国民から見放されてしまうことも忘れてはならないことでもあります。

特に本県においては全国的な勝利と裏腹に、6選挙区のうち2選挙区でしか勝利できなかったことを重く受け止め、早急に組織の立て直しに全精力を傾注するとともに本県の県民が求める農業政策や少子高齢化社会への対応或いは経済政策など多岐にわたる政策の将来的なビジョンを丁寧に訴え、理解を得られるよう謙虚な姿勢で地域住民と接していくことが肝要なことであると言えます。

今年は、前知事の突然の辞任劇による県知事選挙が行われましたが、選挙戦情勢また選挙結果からまさに熾烈を極めた選挙であり、勝敗は紙一重のところを決したことは周知のとおりであります。

本県においては、一昨年7月の参議院選挙そして10月の県知事選挙といずれも政策も理念も相いれない政党同士の野党共闘がいつも簡単に成立しており、このことが厳しい選挙を強いられている大きな要因になっていることは明白であります。

それに加え、今回は森友問題や加計学園問題により全国的にわが党支持率が下降気味であったことも大きく影響したものと考えられます。

我々は野党共闘が常に争点化しようとする原発問題や単なる合言葉的なイメージ選挙に振り回されない選挙戦を展開することが選挙を戦ううえで重要なポイントになることを認識しなければなりません。

そのためには、日常活動の中で出来るだけ地域住民との接点を多く設け、わが党の政策の中で何が足りないのか或いは是正すべきことはどこなのか、また何に力を注いだらいいのか等を吸収し、それらの解決策をもって組織の拡張を実践するとともに、選挙戦において訴えることが理解と共鳴が得られるものと思えます。

特に来年は、4月に我々の生活と密着する統一地方選挙そして7月には第25回の参議院通常選挙が控えております。

これら2大選挙を勝ち抜くためには、本大会を契機に一般有権者と同じ目線で地域に根差した地道な活動を継続的に展開していくことが勝利に結びつくものと確信いたします。

そこで、次の活動方針を掲げ運動を展開するものであります。

- 1 党員獲得運動で強固な組織をつくろう。
- 2 各種友好団体との更なる連携を深めよう。
- 3 次期統一地方選挙並びに参議院通常選挙の必勝態勢を確立しよう。